

平成29年度

町会・自治会加入促進、 活動活性化実践講座報告書



平成30年3月

杉並区町会連合会
杉並区

目次

はじめに	1
講座の目的及び実践講座実施状況	2
各地区のまとめ	
清查中通・下井草地区	5
上荻窪・上井草地区	7
荻窪地区	9
天沼地区	11
阿佐谷・成田・馬橋地区	15
和田・堀ノ内松ノ木・高円寺中央・高円寺北地区	18
宮前・高井戸地区	23
方南和泉・下高永福地区	27
全体のまとめ	33
講評	34

はじめに

平成27年度から実施しました講座では、多くの皆様が参加し、活発な意見交換が行われました。意外と知らない他の町会・自治会の活動状況などを知ることができたことは、大きな刺激になったことと思います。こうした、各町会・自治会の活動内容を参考に、今まで思いつかなかったことなど、これからの活動の参考になったのではないのでしょうか。

一方で、大きな問題となっている、加入率の減少や、役員の高齢化・後継者不足といった課題については、明確な答えが導き出せていないことも反省点としてあると思います。

3年に渡る講座の実績を踏まえ、30年度からは、より多くの方、特に若い世代に町会・自治会活動を知ってもらうために、杉並区町会連合会のホームページの立上げについて検討することとしました。また、町会・自治会の運営方法などについて、皆様の活動のお役に立てってもらうため、ハンドブックの作成について検討することとしました。いずれも、31年度に実施できればと考えております。

平成30年度は、杉町連創立60周年を迎えます。この節目の年に、こうした取組に力を入れてまいりたいと存じますので、皆様方のご理解、ご協力をいただきたいと思います。

平成30年3月

杉並区町会連合会会長 秋山 とよ

【講座の目的】

過去2年間実施した「町会・自治会加入促進、活動活性化講座」の実績をもとに、参加者からの意見を踏まえ、主に情報交換の場を中心に、加入促進、活動活性化に向けた取組みを話し合い、実践に向けた具体的手法を模索する。

【開催方法案】

- 1 杉町連と区との協働開催とする。
- 2 各地区町連単位または、各事務局単位に開催する
- 3 日程・参加者数・会場については、開催単位で決定する。
- 4 開催時間は、2～3時間とする。
- 5 開催単位に企画書を作成し、杉町連事務局（地域係）に事前に提出する。

【講座例】

司会進行：各地域担当副参事または地域活動係長

I 開会の挨拶（地区町連会長）	
II 具体的取組事例の発表 1 加入促進の取組み 2 活動活性化（祭りなどのイベント）の取組み	30分程度
III 実践講座（ワークショップ） 数名程度のグループ分け テーマ：例 1 町会・自治会加入促進の取組 各々の事例を情報交換しながら、新たな取組を模索する 2 高齢化、後継者不足の解消 世代交代への取組事例などを情報交換する 3 地域への情報発信 会員、未加入者への町会活動の周知及び理解 4 町会・自治会同士が協働して取り組む活動 近隣同士の町会・自治会が協働で取り組める活動を模索する 5 町会の運営について 町会の運営方法について	1時間程度
IV 実践講座の発表	30分程度

☆各講座の事例発表を取りまとめて報告書を作成し公表する。

平成 29 年度 町会・自治会加入促進、活動活性化実践講座実施状況

地域活動係	地区町連	日時・会場・参加者	内 容
井 草	清查中通 下井草	2月2日(金) 14:00~16:30 井草地域区民センター 第1・2会議室 参加者数 32名	東京都の「地域活動支援アドバイザー派遣制度」を活用した実践講座 アドバイザー：漢那 宗丈氏
西 荻	上荻窪 上井草	12月15日(金) 14:00~16:00 西荻地域区民センター 第3・4会議室 参加者数 25名	東京都の「地域活動支援アドバイザー派遣制度」を活用した実践講座 アドバイザー：曾我 太郎 氏
荻 窪	荻窪	2月28日(水) 14:00~16:00 荻窪地域区民センター 第4・5集会室 参加者数 11名	東京都の「地域活動支援アドバイザー派遣制度」を活用した実践講座 アドバイザー 漢那 宗丈氏
	天沼	1月20日(土) 10:00~12:00 本天沼区民集会所 第2・3集会室 参加者数 33名	東京都の「地域活動支援アドバイザー派遣制度」を活用した実践講座 アドバイザー 山川美穂子氏
阿 佐 谷	馬橋 阿佐谷 成田	12月6日(水)14:00~16:30 阿佐谷地域区民センター 第4・5集会室 参加者数 48名	東京都の「地域活動支援アドバイザー派遣制度」を活用した実践講座 アドバイザー：曾我 太郎 氏
高 円 寺	和田 堀ノ内松ノ木 高円寺中央 高円寺北	11月18日(土)14:00~15:30 高円寺地域区民センター 展示室 参加者数 128名	基調講演 秋山 成子 氏 (西荻窪町会会長) パネルディスカッション
高 井 戸	宮前 高井戸	2月24日(土) 14:00~16:00 高井戸地域区民センター 第9集会室 参加者数 13名	実践講座(ワークショップ) 発表
永福和泉	方南和泉 下高永福	3月9日(金) 14:00~16:15 永福和泉地域区民センター 第1~3集会室 参加者数 50名	実践講座(ワークショップ) 発表

※アドバイザーはすべてNPO法人 東京都港区中小企業経営支援協会から派遣

各地区のまとめ

【清沓中通・下井草地区】

2月2日(金) 14:00～16:30 井草地区区民センター 第1・2会議室 参加者数 32名

東京都の「地域活動支援アドバイザー派遣制度」を活用し、町会加入率の低迷や後継者不足など、町会・自治会の抱える課題解決へのきっかけづくりを目的とする講座を実施

アンケート集計結果

◇参加者：32名、うちアンケート回答者31名			
1 実践講座（ワークショップ）について			
1	参考になった		9
2	ある程度参考になった		17
3	あまり参考にならなかった		3
◇その他感想等(例：どのような点が参考になったか、あるいは、参考にならなかったか、等)			
ワークショップでは、情報交換の場として、同じ行事でも様々なやり方があることを知った。			
自己表現の欲求によって、地域を活性化するということが参考になった。			
区・都の補助金のわかりやすい資料等、町会に入っていないと困ることをもっと知りたい。			
他町会との違いが参考になった。町会に持ち帰り、会員と話し合いたいと思う。			
子どもへの図書カードの配布、敬老品の配布、結果的に何の行事が良いか不明のまま。			
町会入会について、区が関与していただくと、話がしやすい。			
町会活動に大人に参加してもらうには、高次欲求を満たす内容を計画しなくてはならない。			
高齢者が多いので、考えることがある。お金のこともある。			
ITなどを使うこと。日本全体の活動も分かること。			
他町会の活動が少しわかったこと。町会運営の困難さを改めて感じた。			
悩みや困りごとが共通しているとわかった。現状報告の時間が不足していた。			
初対面の人が多いので、意見交換の時間がもっと必要。			
役員や理事になると大変だからと脱退するか、会費のみ納入となり、世話役をする人がなくなる。			
町会役員の高齢化は、どこでも悩みの種だと思った。			
どのような活動をしたら、皆さんに満足していただけるか、考えていこうと思った。			
他の町会の活動が聞けて良かった。			
グループの話し合いの時間が短い。			

パワーポイントは見づらい。レジュメだけで良かったのではないかな。

大人が喜んで参加できるイベントづくりを考えていきたい。

情報の共有ができて良かったが、話し合いの時間が短い。

課題について、具体的な話がなかった。

町会加入促進、広報・他団体との連携、マンション住人の加入促進、これらの事項はとても重要だが、特に参考にならなかった。

個人情報の保護や、IT知識など、問題がありすぎ。

町会に入らないと困ることは何か。大人も参加したくなる企画は、非常に限られるのでは。

課題について、今一步踏み込んでの話、あるいは提案策が聞けると良かった。少し残念。

あちこちで、同じようなイベントをやっているのが共催していくのが良いのかと思った。町会もイベントに関わっている、とアピールすることが重要。

2 今後も他の町会・自治会の皆さんとの交流の場が必要だと思いますか。

1 思う

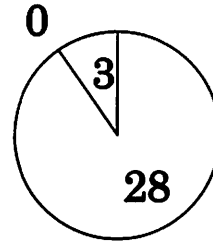
28

2 思わない

0

3 どちらでもよい

3



3 今後、本講座で取り上げてほしいメニューや課題があればお聞かせください。

役員の集め方が知りたい。

興味あるイベントの作り方

防災訓練がマンネリ化しているので、魅力的なイベント風のやり方があれば聞きたい。

ケーススタディを望む。

テーマを決めて話し合いを。

事前に課題提示があれば、各町会での中での話し合いも可能だと思う。

震災、災害

各町会・自治会の紹介、活動の活性化方法など。

イベントについて

マンション住人への加入促進の難しさ。

現在のやり方で良い。

4 あなたの町会・自治会の所属する地区町会連合会に○をつけてください。

清沓中通地区町会連合会

8

下井草地区町会連合会

23

【上荻窪・上井草地区】

12月15日(金) 14:00~16:00 西荻地域区民センター 第3・4会議室 参加者数 25名

東京都の「地域活動支援アドバイザー派遣制度」を活用し、町会・自治会活動を担う人材の確保・育成について学ぶ

アンケート集計結果

◇参加者：25名、うちアンケート回答者24名										
1-1 実践講座について										
		<table border="1"> <tr><td>1 参考になった</td><td>7</td></tr> <tr><td>2 ある程度参考になった</td><td>9</td></tr> <tr><td>3 あまり参考にならなかった</td><td>4</td></tr> <tr><td>4 無記入</td><td>4</td></tr> </table>	1 参考になった	7	2 ある程度参考になった	9	3 あまり参考にならなかった	4	4 無記入	4
1 参考になった	7									
2 ある程度参考になった	9									
3 あまり参考にならなかった	4									
4 無記入	4									
1	参考になった	7								
2	ある程度参考になった	9								
3	あまり参考にならなかった	4								
4	無記入	4								
◇その他感想等(例:どのような点が参考になったか、あるいは、参考にならなかったか、等)										
司会者が喋りすぎ。										
マニュアルが有ったところが参考になった。										
良いところ、難しいところが参考になった。良く理解している先生の話は、わかり易かった。										
実例を出して下さったので良くわかった。										
講義の内容を、自分たちの町会でどのように進めるかが難しい。										
本日の参加者は町会の役員が多く、役員は熱意のある人ばかり。仕方がなく仕事をする人は講義では身につかない。										
他の町会の話も聞けた。										
数多くの実例を紹介してほしい。										
時間が短すぎる。										
町会のあり方や可能性についてとても参考になった。今後の活動に活かしたい。										
一つひとつの事柄に、もう少し突っ込んで話をしてほしい。										
1-2 ワークショップについて										
		<table border="1"> <tr><td>1 参考になった</td><td>3</td></tr> <tr><td>2 ある程度参考になった</td><td>13</td></tr> <tr><td>3 あまり参考にならなかった</td><td>5</td></tr> <tr><td>4 無記入</td><td>3</td></tr> </table>	1 参考になった	3	2 ある程度参考になった	13	3 あまり参考にならなかった	5	4 無記入	3
1 参考になった	3									
2 ある程度参考になった	13									
3 あまり参考にならなかった	5									
4 無記入	3									
1	参考になった	3								
2	ある程度参考になった	13								
3	あまり参考にならなかった	5								
4	無記入	3								

町会それぞれの心配、気掛かりな事を少し知ることができた。
各地域で努力している様子が理解できた。
各自治会でいろいろな事を行っているのが参考になった。
ワークショップの手順が良くない。講師の説明不足（付箋の使い方等）。 ワークショップのみとした方がよい。
（自己紹介は短時間で） 環境の異なる町会・自治会の人達によるワークショップの狙いは何か。
時間が短すぎて十分な話し合いができない感じを持ち残念だった。
他の町会の方々と話し合いが持つことが出来、良かった。
いろいろな事を既に行っているので、人の意見を聞いても余り参考にならない。

2 今後も他の町会・自治会の皆さんとの交流の場が必要だと思いますか。

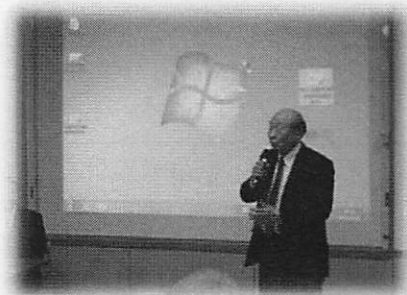
1 思う	19	
2 思わない	0	
3 どちらでもよい	4	
4 無記入	1	

3 今後、本講座で取り上げてほしいメニューや課題があればお聞かせください。

役員の高齢化対策。具体例があれば紹介してもらいたい。
会場の確保の仕方。
多様な事例紹介。
働いている世代の方へのサービスの事例や協力の仕方について。

4 あなたの町会・自治会の所属する地区町会連合会に○をつけてください。

上荻窪地区町会連合会	9
上井草地区町会連合会	15



【荻窪地区】

2月28日(水) 14:00～16:00 荻窪地域区民センター 第4・5集会室 参加者数 11名

「地域活動支援アドバイザー派遣制度」(東京都の支援制度)を活用し、町会・自治会活動を担う人材の確保及び町会・自治会への加入促進について、実践方法を学ぶ。

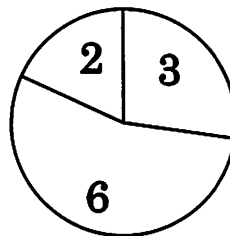
アンケート集計結果

◇参加者：11名、うちアンケート回答者11名

1 今回の講座について

講義とワークショップ

1 参考になった	3
2 ある程度参考になった	6
3 あまり参考にならなかった	2



感想等(例：どのような点が参考になったか、あるいは、参考にならなかったか、等)

毎年同じようなことをやっていてつまらない

講師の話は具体的であったが、解決策が抽象的であり、参考にならなかった。

他町会の具体的実施事例は参考になった。具体例のケーススタディが望ましいのでは。

今までの活動にプラスして、より一層の会員確保に努めたいと思った。

スマホの利用 →少なくとも役員間は使うべきと思った。

イベントの効果を考える →行うときの工夫

満足度の低いイベントはやめるべき、ということ。

子どもだけでなく、大人の参加が必要だということ。

町会加入のピンポイント策を聞くことができず残念。

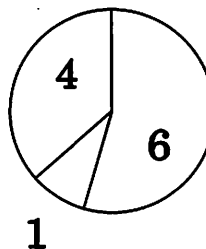
他町会の活動が参考になったが、各々状況が違うので、独自の活動の中で他町会と協力出来るものはしていきたいと思う。

他の町会の方との話はとても参考になった。講義に関しては一般論でどこかで聞いたことがある部分もあった。

各町会それぞれにイベントを開催している様だが、町会加入促進には余り効果がない様子。

2 今後も他の町会・自治会の皆さんとの交流の場が必要だと思いますか。

1 思う	6
2 思わない	1
3 どちらでもよい	4



3 今後、本講座で取り上げてほしいメニューや課題があればお聞かせください。

役員の後任をどうするか？



【天沼地区】

1月20日(土) 10:00~12:00 本天沼区民集会所 第2・3集会室 参加者数 33名

「地域活動支援アドバイザー派遣制度」(東京都の支援制度)を活用し、町会・自治会活動を担う人材の確保・育成及び町会・自治会への加入促進について、実践方法を学ぶ。

○実践講座まとめ

【テーマ】 どうしたら町会活動に新しい人を受け入れられるか、そのために何をしたらよいか

【A グループ】

基本中の基本だが、町会費を集める際に、町会に入るメリットを説明する。

また、防災訓練など、特に来てほしいということをお覧板で周知する時には蛍光ペンなどを使って目立たせるように工夫する。

若い人、子どもの親世代に、町会に関心を持ってほしい。以前、学校に協力してもらって、学校のイベントの後に、町会の防災訓練をしたことがある。消火器の訓練など「何をやっているのだろう」と子どもたちからも興味を持たれた。訓練の最後に町会のPRをさせてもらうことができた。

【B グループ】

町会の役員を男性や若い人にやってほしいと思うのであれば、参加しやすいように、役員会の日時を日曜日や夜などに変える。負担にならないようにしてもらうのは大事なことである。

町会活動に関しては、ラジオ体操をしている町会がある。参加するとワンポイントもらえる楽しみがあり、若いお母さんと子どもも来るようになったとのこと。楽しみを持てるようにするのは良いこと。

防災訓練は(町会活動PRの)チャンス。PTAなどに声をかけて参加してもらう。

組長は年ごとに変える。組長会を作って組長同士のつながりを持たせている町会もある。行事は人を呼び込めるが役員への負担になる。

役員への報酬を増やすという意見もあったが、お金を配るのはどうかという意見もあった。前回もこのような意見交換があったが生かされず一年経ってしまった。このような機会が生かされるようにしたい。

【C グループ】

町会で入学祝いや長寿祝いを配ったりしている。もう少しアピールして、継続して町会に関心を持ってもらえるきっかけを作る。また、町会が何をやっているのか分からないと思われることもあるので、このような機会に活動内容を詳しく説明する。

新しい人を呼ぶために、もちつき大会や縁日など、若い人が関心を持てるようなことをする。

防災訓練への参加を徹底するために、町会だよりを班ごとに細かく配って参加を呼びかける。そうすれば新しい人が入ってくるかもしれない。

防災訓練等の参加を呼びかける。スタンドパイプの訓練をする場合には、近隣のポストに

チラシを入れて周知徹底する。

【D グループ】

地域の輪を保つ一つの方法として、消火栓のある場所でできるだけスタンドパイプの訓練をやる。消火栓は100メートルおきにある。これで地域の人たちが顔見知りになれる。既にやっている町会があり、参考になる

挨拶をし合う。子どもを守るために挨拶をする、知り合うということが大事。大人が挨拶をしなければ子どもも挨拶しないのは当たり前。挨拶を返してくれなくても懲りないで挨拶をしていきたい。

若いお父さんお母さんが町会にもっと顔を出してほしい。例えば PTA の役員、おやじの会など、いかに巻き込むかを考えたい

【E グループ】

若い人は子どもが来ないと参加しない。子どもが参加できるような、若い人が興味を持つものを何か考えないといけない。しかし、新しい事業を始めるのは体制的にも年齢的にも難しいところがある。防災訓練や震災救援所の訓練に参加してもらうのが良い。東日本大震災の時、ある校長先生の話をついたことがあるが、震災救援所に来るのはだいたい子どもを連れた30代～40代の人。震災救援所に行けば食料が用意してあるという感覚で来る人が非常に多い。本当はその年代の人に防災訓練に参加してほしい。私たちはPTAや天沼小学校の「朝遊び」などいろんな支援をしている。ギブ&テイクと言うのではないが、学校にも協力をしてもらって、PTAにも参加してほしい。その中で町会とも顔なじみになって、コミュニケーションを交わしていくのが良いのではないかな。

【F グループ】

若い人が興味のある健康・趣味のサークル活動を企画する。そのついでに町会を紹介して説明する。

昨夏に盆踊りを企画して大成功した町会があった。若い人を呼ぶのに良いと思う。若い人が参加するためには子どもが参加できることが大事。バスを使った日帰りツアーをやった町会もある。費用負担の問題もあるが、バス代だけ町会が負担するなど。若い人が参加する意欲が高まるのではないかな。

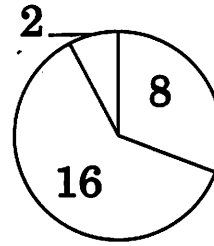


アンケート集計結果

◇参加者：33名、うちアンケート回答者32名

1 今回の講座について

ワークショップ	合計
1 参考になった	8
2 ある程度参考になった	16
3 参考にならなかった	2
無記入	6



その他感想等(例：どのような点が参考になったか、あるいは、参考にならなかったか、等)

町会加入促進に関する成功例に重点をおいた紹介が欲しい。

8町会の意見交換が出来て良かった。

大体どの町会でも人手が足りないとか、防災訓練等に出てくれないとか、町会費を何に使っているか分からないとかの話が多かったと思う。各催し物が有った場合はどんどん出席していきたいと思った。

他の地域の事を少し知ることが出来た。参考にしたい。

会員を増やす為の工夫。特に集合住宅のケースが参考になった。

身近な対策、具体例をもっと説明、紹介してほしい。

いろいろな考え方があることを教えていただいた。

若い人への加入、アプローチ等とても悩んでいた事等について、とても良い意見を聞くことが出来、参考になった。

各テーブルから貴重な意見が多く出、とても参考になった。

町会加入のアプローチの仕方が参考になった。PTA、おやじの会など、新マンションなどの加入のアプローチ、若い人が加入し、役員として活躍してくれることが地域の活性化につながるので、ぜひ推進していきたい。

町会の理事になってまだ日が浅く、目新しいことばかりだったが、地域に長く暮らしているが、町会活動は低調、災害時に備えられればよいかと。そのための日頃の備えが町会の仕事か？

地域の状況が違う中で、共通の悩みについての話を聞くことが出来、良かった。

他町会の実情がわかり、大変良かった。

マンション、シェアハウスに呼びかけて会費を頂く事は参考になった。

他町会との交流には役立った。

各地区の活動内容が分かり参考になった。

テーマが大きい割に時間が短かったが、各グループからいろいろな意見を具体的に聞くことが出来、その話を新人の方に伝えると、関心を持っていただけるかもしれないと思った。参考になる意見も多く、実践できる事から取り組みたいと思う。例えば、防災訓練に力を入れる地域を分割して全員に出席してもらえるようにする、イベントをやって関心を持ってもらうなど。

各町会からの意見、実績等の報告を今後に生かしていきたい。
まだまだ時間足らずで。
グループのコミュニケーションの時間が少し取りづらかった。
その地区の具体的活動内容を知ることが出来たこと。（消火栓使用の講習会、盆踊りなど、自分のところではやっていないこと。）
前回と同じ話し合いだった。変わった点があれば良かったと思うが残念。
目新しい事がなかった。町会加入は強制ではないが、もっと住民に知らせる工夫をしてほしい。行政は、町会に頼ってばかりではないだろうか。
ワークショップは時間制限もあるため、テーマを具体的に絞って行うことをお勧めする。

2 今後も他の町会・自治会の皆さんとの交流の場が必要だと思いますか。

1 思う	24	
2 思わない	1	
3 どちらでもよい	7	

3 今後、本講座で取り上げてほしいメニューや課題があればお聞かせください。

特に集合住宅住人への加入促進テーマ。
町会の役員も、引き受けてくれる人がおらず、歳を取っても辞められず、長い間役に就かなくてはならないので大変。いかに後任の役員を頼むかが、今一番の課題。若い人は皆、勤めているので引き受けてもらえない。
子どもと共に若い親達の加入促進について。
事例発表などで討論を入れての講座。
もう一度考えていかなければと思う。
活性化している町会があれば講座を開催してほしい。
結果報告をちゃんとしてほしい。

4 あなたの町会・自治会の所属する地区町会連合会に○をつけてください。

天沼地区	32
------	----

【馬橋・阿佐谷・成田地区】

12月6日(水)14:00~16:30 阿佐谷地域区民センター 第4・5集会室参加者数 48名

「地域活動支援アドバイザー派遣制度」(東京都の支援制度)を活用し、町会加入率が低迷するなど地域コミュニティの再構築が社会的な課題となっている中、より良い地域社会の構築に向けた活性化講座を開催し、町会・自治会の抱える課題解決へのきっかけづくりを目的とする。

アンケート集計結果

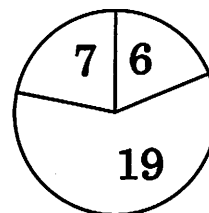
◇参加者：48名、うちアンケート回答者40名		
1 今回の講座について		
◆ワークショップ		
1 参考になった	7	
2 ある程度参考になった	19	
3 あまり参考にならなかった	7	
◆感想等(例：どのような点が参考になったか、あるいは、参考にならなかったか、等)		
自分自身の地域を多面的に知る大切さを痛感した。		
ワークショップの時間にゆとりがほしい。		
町会によって色々な取組があることを知った。		
各町会の情報を聞くことができて良かった。(類似他2件)		
各町会は、同じような活動をしている。		
どの町会も悩みを抱えていることが良くわかった。		
料理教室を始めた町会がある。		
どこの町会も人材不足、会員不足の話が多かったように思う。		
新しい行事に取り組みず、新たな取組をしても参加者の顔ぶれは変わらないとの話があった。		
班(小グループ)での話し合いは良かった。		
もっと自治会の加入者を増やしたい。役員のなり手がいない。それについての話がもう少し聞きたかった。		
役員のなり手がいない、ということが話題になった。		
住民間の交流のためのイベント等、各町会で実施している内容の成功例、問題点等。		
世田谷区の事例。		
ごみ処理サポートによる補助金収入。		
それぞれの町会の背景(商店街など)が違うことが改めて認識された。抱える事情が違うため、一つの方向性が見出せない。		
決まった顔しか集まらない。		
意見交換の場は大変参考になった。		

町会のPRをどのように行っていくか？マンションは独自で事業を行うので、他に入ることはない。

テーマや課題を決めてから取り組んだほうが良いと思う。

◆講義

1 参考になった	6
2 ある程度参考になった	19
3 あまり参考にならなかった	7



◆感想等(例：どのような点が参考になったか、あるいは、参考にならなかったか、等)

町会に名人がいらっしゃること

人材の育成や確保の方法を考える講座にしてほしい。

現状のことだけで、一歩先に進んだ話が無かったように思う。

サクセスストーリーは理解できるが、自らの課題としてはあくまで理想にすぎない。やりたいことがあっても、担い手がいない。

町内に住む高齢者の活用・育成の話だったが、町会活動にどう結び付けるのかが理解できなかった。

高齢化した役員の構成を、これからどのようにしていくか等の話が聞きたかった。

参加者が同じような人ばかりなのに、新しい企画をすれば違ってくるのか？

高齢者と若い人の交流

健康長寿の10か条

日本橋に若者を定着させるために仕事を決める場を提供。家賃に対してはどうするのか、日本橋は家賃が高い。

ワークショップ同様、町会事情が違いすぎる。

やりたいと思うが、町会運営が難しい。

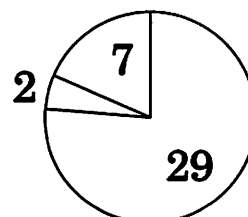
地域の特性があるので、参考になる面と参考にならない面がある。

回覧を見ていない人がいる。

話の内容が飛躍しすぎる。

2 今後も他の町会・自治会の皆さんとの交流の場が必要だと思いますか。

1 思う	29
2 思わない	2
3 どちらでもよい	7



3 今後、本講座で取り上げてほしいメニューや課題があればお聞かせください。

たくさんの方が役員をやって下さる組織づくり

町会員増加法の成功例の紹介
時間が充分でなく、現状を話すだけで終わってしまう。
行政の協力を期待。
若い人が町会に参加するには、どうすればよいか。
講座もいいが、意見を交わす時間をもっととってほしいと思う。
出席者にあらかじめテーマを知らせて、意見を述べ合えばいい。
どうしたら町会行事に参加してもらえるのか。
お客様役員が多いので、役員をもっと自主的に動かすには？
男性の役員が少ないので、男性に出てきてもらうには？
町会にかかわる各種団体への参加が多い。本来の地域活動に支障が出る。負担が多いと役員のなり手が少ない。
なかなか他の町会の活動内容がわからない事も多い。町会活動に参加してほしいが、他の町会ではどの様にしているのか。
弱体化していく町会をどうする。
行政がいかに応援するか。
高齢化した町会の役員のなり手がいない。このままでは町会が消えていくのでは。
町会の活性化を図るためには。
今後の町会のあり方、施策
40・50代の方にどのように取り組もうとしているか、区・行政機関の姿勢がないように思った。
世代交代。

4 あなたの町会・自治会の所属する地区町会連合会に○をつけてください。

馬橋地区町会連合会	11	
阿佐谷地区町会連合会	17	
成田地区町会連合会	10	



【和田・堀ノ内松ノ木・高円寺中央・高円寺北地区】

11月18日(土) 14:00~15:30 高円寺地域区民センター 展示室 参加者数 128名

高円寺地域区民センター協議会の合同で、地域における町会・自治会の役割とネットワークづくりについて学ぶ。

○基調講演

「地域への広報活動と仲間づくりの試み」

西荻窪町会 秋山 成子 (あきやま ふさこ) 会長

① 町会活動の問題点・課題点

○町会の活動が地域に分かってもらえていない。

→活動しているならお知らせしよう。

○地域のことを一部の人だけで担っている。

→みんなでやりませんか (現在、提案中)

② 町会を知ってもらうために

○「町会だより」「防災だより」を月1回発行して、活動報告やこれからの予定、お知らせや町会としての考え方や方向性などを掲載しており、反響は上々である。

○回覧板(掲示板)を見てもらうための工夫

行政からのお知らせだけでなく、必ず町会発行のお知らせを入れる。

地域や商店街のイベント情報などを入れる。(欲しい情報は千差万別)

回覧板に頭書きを付ける。(必要な情報を見てもらえる)

回覧を回す順番票を内側に貼る。(必ず開かせるため)

回覧板にオリジナリティを持たせる。→読み応え、面白さ、期待感

※面白いと思ってもらえるよう工夫していることを、直接訴えかけている。

掲示板に対する期待感を持ってもらえるようにする。

古い情報や汚れたものは外し、なるべく新しい情報を掲示する。

画紙からマグネットに修繕した。(当番の負担軽減)

見やすくするため掲示の基準を示す。

○「定期パトロール隊」「わんわんパトロール隊」「お散歩パトロール隊」を編成。町会加入の有無にこだわらず、町会区域外の方でも参加可能にして、現在の登録者は約100名。

○町会のキャッチフレーズ(自助・共助・近助 顔の見える近所づきあい!)やオリジナルグッズ(シンボルマーク、ウインドブレーカーやバッグなど)を作成して、町会が活動していることをアピールする。

○行事は町会の大事なアピールチャンスなので、地域の人が参加しやすい行事(餅つき大会、夏まつり等)を実施する。

○活動自体は、地域の人と一緒にやるのが大事である。時には地域の人の意見を聞き、町会の行事として手助けすることもある。

○活動したら、実施後すぐに報告する。

○町会未加入世帯や若い世代に情報を送りたいため、紙媒体だけではなくインターネット(ホームページ・ツイッター・フェイスブック・LINE)を活用した情報提供を行っている。

このようなことを実施してみて、町会の認識は高まっているように感じている。

③ 仲間を増やすために

- 役員会を誰でも（未加入者、区域外含）見学OKにする。
- 町会の行事やイベントは、誰でも参加可能にしている。
- 手伝ってほしい時は、一人ひとりに具体的に頼む。
- 地域で活動したい人を、町会がサポートする。
- 他の団体との連携
- マイナスの言葉掛けは、離れていくだけ。
- PTAに期待しすぎず、むしろ、町会がPTAを手伝うというスタンスで関係づくりを。

一部の人頑張るのではなく、「地域で共に暮らす」気持ちを共有し、自分の持てる能力を少しずつ持ち寄り、「365日のうち2時間」を地域のために使ってくれる人が増えれば、もっと楽に、楽しくいろいろなことができる気がしている。

○パネルディスカッション

参加者

秋山 成子会長（西荻窪町会）

来島 明会長（高円寺地域区民センター協議会）

和田地区町会連合会代表 北澤 五百子会長（和田自治協力会）

堀ノ内松ノ木地区町会・自治会連絡協議会代表 田中 耀信会長（堀ノ内南町会）

高円寺中央地区町会連合会代表 糟谷 一会長（高南二丁目町会）

高円寺北地区町会連合会代表 明石 文子会長（馬橋南自治会）

【各地区または単一町会での取り組みについて】

- 町会の活動に子供たちを巻き込み、引率してくる保護者にみこしの担ぎ手など、町会の活動に協力依頼をかけて輪を広げている。
- 毎年、地区町連にて区域内の小中学校を借りて、毎回趣向を変えてイベントを実施している。その際、中学生にお手伝いしてもらっている。
- フェイスブック等を活用して、地域のコミュニティを醸成している。
- 役員以外の方で、町会事業協力メンバーを募り、町会活動に参加して貰っている。その協力メンバーが知人に声掛けをして、活動人員を増やしている。
- センター協議会では、委員同士の情報共有を図るためホームページを立ち上げた。その中で、協議会の活動状況が分かるようブログを開設し、発信している。OB・OGがブログを見ていただき、応援団になっていただければと思う。

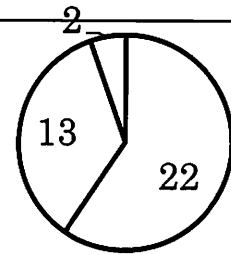
アンケート集計結果

◇参加者：128名 うちアンケート実施者 100名 アンケート回収者 37名

1 今回の講座について

(1) 基調講演

参考になった	22
ある程度参考になった	13
あまり参考にならなかった	2



その他感想等

- 回覧版の内容別に分けて配ること。
- 役員会の活動内容を掲示板等で周知することが大切だと感じた。
- 一緒にしましよと声掛けをする(365日のうち、2時間を地域のために)。
- 自分の町会で出来ないことを行っていたこと(パトロールなど)。
- 時間がたっぷりあって、細部まで話が聞けた。
- 回覧版に町会のオリジナリティを出す。
- 掲示板のマグネットの活用法。
- 町会の行事に学生の参加を呼び掛ける。
- 若い方の加入促進。
- 町会サポーターのような活動があればと思った。
- 町会は何をしているのか分からない、と言われることがある。もっと町会をコマーシャルしていく方法が必要と思う。
- 我が町会は、地域の皆様と協力し合い、活発に活動していると認識した。
- 世代交代のためか、新人取得は難しい課題。
- 自助・共助・近助等参考になった
- やはり若い人を役員にしたいけど中々いない
- 古着を集めること(リサイクル)。
- 広報に工夫していること。
- 役員の年齢。
- 若手の起用法。
- 卒業・入学祝いの活動は大変良い。
- 3000世帯に対して加入700世帯は少ないのではないか。
- 町会の役員数が少ない。
- 機動力のある役員を揃えなければ、加入促進・活性化は厳しいのではないか。
- 公園改修の話は参考になった。
- 「少数が頑張るのでなく2時間でもよいから地域のために使ってくれる人が大事」の言葉が印象的だった。
- 知ってもらうことの大切さ。

町会役員自身が前向きでなければならない（決して後ろ向きな会話はしない）。

ケースバイケースだから。普遍的な真理ではない。

うちの町会とは違いすぎると思った。

地域の人との活動。

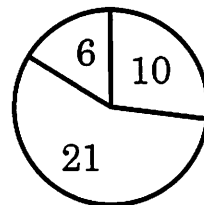
インターネットを活用していること。

(2) パネルディスカッション

参考になった	10
--------	----

ある程度参考になった	21
------------	----

あまり参考にならなかった	6
--------------	---



その他感想等

協力員制度が参考になった。

SNS 活用と協力メンバー活用は良かった。

時間が少ない、時間の割り振り。

町会事業協力者（協力員制度）の話は大変参考になった。

協力員制度、みこしのかつぎ手について。

協力委員の話に興味を持った。

各町会の特徴があり、面白かった。

パネルディスカッションになっていない（時間が足りない）。

町会長には、社会の変化に適應できる、若い現役世代が引き受けるべき。やる気のある人が会長になれば、必ず良くなる。

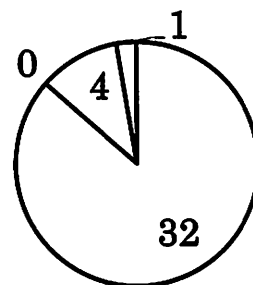
2 今後も他の町会・自治会の皆さんとの交流の場が必要だとおもいますか

思う	32
----	----

思わない	0
------	---

どちらでもない	4
---------	---

未回答（回答なし）	1
-----------	---



3 今後、本講座で取り上げてほしいメニューや課題があればお聞かせください

自治会協力員を増やすための努力。

地域（町会連合会）の活動方法、区の助成金の利用方法、町会役員の募集方法、町会活動への関心（中年・高齢者）。

各町会で努力している点の工夫やアピール。若い方の加入促進が成功している例。

他の地域でも色々やっている。若人が会員になってくれると良い。

マンションの方の加入促進方法（個人型マンションとの接触）。

地域が違うので思うように町会に入ってくれない。話し合いを若い人と一緒にするときどうしたらよいか。祭りなど。

活性化講座は継続するべき。	
高円寺で生まれて育った若者に自分の町の自慢は何だと聞くと、阿波踊りしか答えられない。	
高円寺の地理や歴史（特に大正時代以降）の講座を増やしてほしい。又、写真や地図等は常設してもらいたい。	
協議会委員の募集方法。	
現役世代の地域デビュー。	
コーディネーターを入れての話し合いができるようにしてほしい。	
聞いているだけの座学は必要ない。懇親会を長時間やればいい。人数が多すぎる。	
4 あなたの町会・自治会などの所属する団体に○をつけてください。	
和田地区町連	5
堀松地区町連	11
高円寺中央地区町連	7
高円寺北地区町連	4
その他（育成委員会、NPO、その他）	8
未回答（回答なし）	2



【宮前・高井戸地区】

2月24日(土) 14:00～16:00 高井戸地域区民センター 第9集会室 参加者数 13名

過去2年間に実施した講座の実績をもとに、参加者からの意見を踏まえ、主に情報交換の場を中心に、加入促進、活動活性化に向けた取組みを話し合い、実践に向けた具体的手法を模索する。

○実践講座まとめ

【Aグループ】

(発表：高井戸中央町会 岡崎氏)

- ・宮前三丁目会の活動を、ただただ感心しながら聞いていた。
- ・広報活動・掲示板だが、宮前三丁目会では、貼られたものが無くなるので、ガラスのついた掲示板に建替える予定である。
- ・回覧板については、宮前三丁目会では、重要なものは前面に出して、わかりやすくしている。都営久我山アパート自治会も同様である。
- ・会費・自主財源であるが、宮前三丁目会では、50円の町会費でお祝い金や誕生日、入学・卒業、成人式、敬老、亡くなられた時の弔慰金などをまかなっているようで、その財源として資源(古新聞・ダンボール・ビン・缶・古布等)の集団回収を行い、その報奨金を充てている。さらに花咲かせ隊の活動も行っている。
- ・未加入世帯への対応として、宮前三丁目会では、引っ越してきた方に加入のお願いをポスティングし、後日情報をもって訪問し、協力をお願いするという方法をとっている。
- ・都営久我山アパート自治会では、回覧板のバインダーにある穴に紐をつけて、ドアノブにかける方法をとっている。そうすると、掛けっぱなしになっている世帯があると、入居者に何かあったのではという確認ができる。

【Bグループ】

(発表：松庵町会 森本氏)

- ・久我山東自治会の活動を聞き、加入者がどんどん増えているなど、素晴らしい活動に感心している。
- ・集団回収の報奨金が、久我山東自治会では年間150万円もあるようで、3台の車で町内を回って集めている。
- ・久我山東自治会のバス旅行には150名もの参加があるようで、さらに班長も120名もいるそうである。

【久我山東自治会 片桐氏】

- ①久我山東自治会のエリアは久我山5丁目のほぼ全域で、約2600世帯のうち、約1600世帯が加入している。
- ②魅力ある自治会にしなくてはいけないということで、毎月第4日曜日に資源回収を行い、毎回10～15トン集まる。その報奨金が150万円くらいになるので、それを会員に還元するため、日帰りのバス旅行を実施し、150名前後の参加者を得ている。
- ④大きな行事として、4年前から天皇誕生日に餅つき大会を開催し、去年は100人くらい集まってくれた。費用は全額自治会で負担している。

- ⑤春と秋に、ゆうゆう館を利用したバザー、防災訓練を行っている。
- ⑥夏には久我山小学校校庭でラジオ体操を行っている。
- ⑦新たに小学校に入学する児童に黄色い傘をプレゼントしている。20名程度。
- ⑧敬老の日には、70歳以上の方にお祝い金を差し上げている。年々増えて、去年は500人弱位であった。対象年齢を75歳に上げようかという意見も出ている。
- ⑨役員の確保として、資源回収に参加して下さるかたが30人位いて、若い方も参加しているので、その中で役員ができそうな人の目星をつけて、次の役員をお願いしている。
- ⑩町会の活動については、掲示板・回覧板のほか、自治会のホームページがあり、行事の中止などはホームページにアップして、自宅ですぐに確認できるようにしている。
- ⑪班長は一人10世帯を目安に受け持ち、班の中で毎年順番に班長になってもらっていて、自分の地域に転入者がいるとすぐに町会加入のお願いに行っている。

【Cグループ】

(発表：宮前三丁目会 小泉氏)

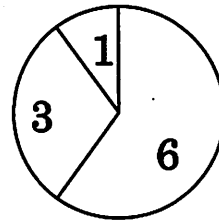
- ・このグループは、60年以上の歴史がある町会のメンバーが集まった。
- ・どの町会も60年以上の歴史に培われて、加入率も60パーセント以上を維持している。
- ・宮前三丁目会のモットーでもある「いつまでも仲良く暮らしていけるまち」「もっともっと住みよいまちにする」については、他の町会でも同じ考えであるとの共感をいただいた。
- ・宮前三丁目会の活動についてはAグループの発表の中で紹介があったが、会では正月の5日を除く毎日パトロールを行う「宮三パトロール隊」、近所の児童館・小学校で定期的に頼まれて、楽しく一緒に子供たちと遊ぶ「昔遊び隊」、宮前三丁目のシンボルでもある大宮前公園の花壇の花を植え替える「花咲かせ隊」、町内の一人暮らしの方、体の不自由な方を目配りしていこうということで区に団体申請した「見守り隊」の4つの隊がある。これまでにない動きとして、こうした隊に入っていたいただいた方が、そのまま町会の役員になっていただくことが目立つようになってきた。さらに活動を活発化しようと思っている。
- ・集団回収の報奨金の額については、高井戸・宮前地区では久我山東自治会と宮前三丁目会が横綱だと思っている。宮前三丁目会では、報奨金を町会費に反映させている。久我山東自治会と活用の仕方は異なるが、集団回収が活動の一つの柱であるということが言えるのではないかと。

アンケート集計結果

◇参加者：13名、うちアンケート回答者10名

1 実践講座（ワークショップ）について

1 参考になった	6
2 ある程度参考になった	3
3 あまり参考にならなかった	1

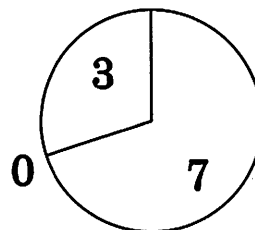


◇その他感想等(例：どのような点が参考になったか、あるいは、参考にならなかったか、等)

- 地区によって夫々の活動を一生懸命に取り組んでいることに感心した。
- 引っ越してきた家に加い入のお願いのポスティングをし、後日情報をもって協力してもらえるように訪問するなど。
- 魅力的な町会を作る。
- 皆さんの話がとても良い話だった。
- 集団回収のあり方や集まった代金の活用の仕方にびっくりした。参考にしたい。
- 自治会費が少額な割には、行事をしっかりとされていた。
- 各町会・自治会独自に、環境に従って進めることが必要だと思う。
- それぞれの町会の歴史を大切に守っていくことが必要だと思う。
- 久我山地区の町会がモデルではないか。
- 久我山東自治会の活動の基礎・基盤が確立しており、大変参考になった。事例として区内でやり方を共有することは意味あることだと思う。
- 他の町会・自治会がどのような活動をしているのかわかり、参考になった。
- 他町会のことが分かった。もっと広く知りたい。
- 公園育て組（花咲かせ隊）など、公園の利用を有効に進めているところ。

2 今後も他の町会・自治会の皆さんとの交流の場が必要だと思いますか。

1 思う	7
2 思わない	0
3 どちらでもよい	3



3 今後、本講座で取り上げてほしいメニューや課題があればお聞かせください。

- 新しい役員勧誘方法。
- 高齢化に伴い、役員成り手がいない。
- 同じ人が続けるのではなく、楽しいこと・苦しいことを共有しながら自治会の輪を広げたいが、どうしたらよいか。

「町会・自治会は何を期待されているのか」を考えることがスタートではないか。	
町会・自治会の適正サイズ、合併・分割・統廃合について。	
ある程度の規模のマンションを一つの単位として町会・自治会活動を促すことが望まれる。	
町会加入者への良い方法。	
集団回収を広めたい。	
マンション・アパート等、集合住宅の町会・自治会加入を行政で推進してほしい。	
4 あなたの町会・自治会の所属する地区町会連合会に○をつけてください。	
高井戸地区町会連合会	4
宮前地区町会連合会	6



【方南和泉・下高永福地区】

3月9日(金) 14:00~16:15 永福和泉地域区民センター 第1~3集会室 参加者数 50名

永福和泉地域区民センター協議会主催のセンター協議会地域懇談会と同日にセンターで行うことにより、町会・自治会、地域住民と様々な地域活動団体の交流・情報交換の場として実施する。

○実践講座まとめ

【1グループ】

魅力ある町会にするためには若い人を取り込みましょう、その為には、広報、PRをしっかりと行う。町会の仕事量が見えない、活動の見える化をする。祭り、かっこよく、スタイリッシュに活動する。楽しいイベントは世の中にいっぱいあるので、わざわざ町会のイベントに行かない、ためになることをやってもらいたい、例えば、消火栓やスタイドパイプのある場所を教えてください。

【2グループ】

若い世代を取り込む、どのように取り込んだらよいか。そのためには、PRの強化、町会に入ることのメリットを働いている世代、お母さん方に対し、より具体的に伝える、例えば防災食ありますよ、助け合える環境がありますといったこと。慰安旅行を実施し、参加者に説明をする。不動産屋を活用して町会紹介案内を配ってもらったりして、町会活動のアピールをしてはどうか地域のパトロールを通じて顔見知りになり関係性を作っていく。顔が見える関係性をつくるのが大事、防災訓練（震災訓練）などに、町会、PTA、学校が三位一体で取り組む。

【3グループ】

町会の活性化は人材育成、そのために次の会長、役員が目途を早めにつける。ラジオ体操で安否確認。チラシに見えにくい町会の活動内容を紹介する。町会費はイベントなどで使い切る。町会活動は防災防犯事業に注力して、効率的に行っている。学校の生徒は遠くから通っている者もいる、地域を知るために通学路の清掃や雪かきをしている。困ったときの町会を標榜できるようにする。祭りやイベントにちょっと付き合っ、という軽い付き合いから始めよう。町会、商店会の人と話すことで地域の情報が入る。

【4グループ】

年会費600円と資源ごみの回収によるお金で様々なイベントや安否確認タオルの作成などを行っている町会がある。活性化の方策として命を守る視点で相互理解を、災害時に助け合える、若い人たちが楽しめる防災が学べるプログラムなどが良い。演奏会のような催しとして町民の集いに学校の関係者、親子が参加できるようにする取り組みがあるといいのではないかと、また、家庭で使いきれない食材を持ち寄り、プロの料理人や料理が得意

な人に調理してもらって食べる食材シェアパーティなどをやってみたらどうか。
子供のうちから地域にかかわる仕組みづくりを。

【5グループ】

町会は加入率が低いことに悩みあり。

どう加入者を増やすか、解決策の一例として外国人を取り込んだらどうか。

町会に入る楽しさメリットをもっとアピールすべき。

バス旅行などで仲良くなり、それをきっかけに。

P T Aは加入率ほぼ100%だがやりたがらない、父親に積極的に参加を促す。

P T Aの地域活動から町会の加入に繋げたらどうか。

町会費を払っているからこそ「助けて」という声もあげやすい。

【6グループ】

組織率が低い、役員の高齢化が問題。

孤独死を防ぐ、情報弱者とならないための、共助ができるというアピールをする。

地域のニーズにあった魅力をいかに作るか。

なかなか役員をやめられない、という話があった。

地域とのコミュニケーションをつくるためのツールとして、学校を使ったらよいのではないか。

【7グループ】

一番の問題は町会が何をやっているのかわからないこと。

分かりやすいパトロールを通じて町会活動をアピールする。

お祭りなどは誰がやっているのかわからない。

回覧は内容がつまらない、もっとスタイリッシュの方がよい。

活動拠点となる町会事務所が必要。

【8グループ】

子どもをいかに巻き込むか、子どもが参加するイベントだと一緒に親がついてくる。

町会の活動を普段から見せ、顔を知ってもらう。

押し付けるのではなく、子供を絡めて長期スパンで広めていく。



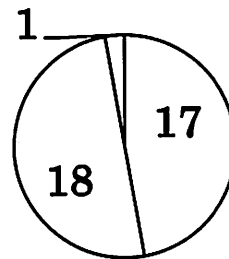
アンケート集計結果

◇参加者：50名、うちアンケート回答者42名

1 今回の講座について

事例発表

1 参考になった	17
2 ある程度参考になった	18
3 参考にならなかった	1
無記入	6



◇その他感想等(例：どのような点が参考になったか、あるいは、参考にならなかったか、等)

町会・自治会関係者のみの話し合いでは、同じ悩みの内容になってしまいがち。若い方や違う団体の方の考えは、参考になった。

もう少しゆっくり事例を聞けると良かった。具体的な取組の話や、資料等があれば、よりわかりやすかったと思う。

町会・自治会の問題点、改善点が明確になった。

参考にしたい事例でした。今後のヒントが得られた。

町会及び自治体の魅力作りをしたほうが良い。魅力があれば人が集まり、そこがきっかけになるのでは。学校を取り込んだ活動。

地域の状況、課題について理解できた。

町会と学校、その他の団体とのつながりがあることがよく分かったし、具体的な例も結構出てわかりやすかった。

それぞれの地域の活動が参考になりました。

昨年よりも地域の団体の広がりがあり、たくさんの意見があり良かった。

子どもをきっかけとして、地域(町会)活動を活性化しようと思う。

町会に加入してもらうためにPTAとしてもどう関わっていったらよいか、考えるきっかけの場となった。

若い世代を取り込むPR活動。

会員がどうしたら多くなるかは、どんなメリットがあるか。

楽しく気付きの重要性を学べた。

1 ラジオ体操 2 バス旅行 3 パトロール 4 困ったときの町会 5 ベスト (警察でくれる)

各地域で活動しているのが良く分かった。

災害時に必要なイベントを楽しく行う町民の集いを行っているところもある。

どの班も問題点の捉え方は同じ。もっと具体的な提案を掘り下げて欲しい。

加入メリットをアピールする。助け合いのメリット→町会費を払っているから要求もできる。ためになる事を教えてほしい。

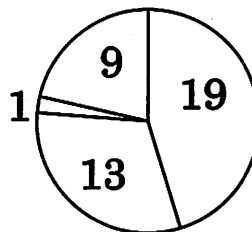
地域団体について様子が聞けて良かった。

同じような悩み。その解決法、参考になった。三人寄れば文殊の知恵の実践だった。

どの町会も同じ問題点を抱えながら、解決の糸口が見当たらない。口で言うのは簡単、どこも実践がなされていない。

ワークショップ

1 参考になった	19
2 ある程度参考になった	13
3 参考にならなかった	1
無記入	9



◇その他感想等(例：どのような点が参考になったか、あるいは、参考にならなかったか、等)

事例発表と同じようなテーブルを囲んだ人は、それぞれ町会だったりケア24、高校、NPO 支援センターだったり。新しい意見が出て、皆で話に花が咲いた。楽しかった。

マイナスな話ばかりでなく、「もっとこうしたい」「こんなふうにしたらどうだろう」とそれぞれが地域をより良くしようとアイデアを出し合い、とても良い刺激を受けた。

比較的若いPTA や学校支援本部の方が出席され、若い立場らしい提案をされていたのが頼もしかった。

- ① 町会独自の見守り体制を作ることで町会に入るメリットになると思う。
- ② チラシ等書類配布はコストもかかるため町会に加入されている方の口コミが大切になると感じた。
- ③ 既に町会に加入されている方々同士で、なぜ町会に加入したのか話し合うことでメリットを共有できると思う。新しいことをするのも大切だが、今あるメリットを見つめ直すことも大切だと感じる。
- ④ いざ助けが欲しい時に見知らぬ人に話すのは困難なこと。普段から関係を作るために町会費を払うと考えれば、費用に意味が生まれてくると思う。

日頃なかなかゆっくりお話できない町会の方とお話ができ、意見を聞け良かった。

具体的な各自治会の話と対策が議論でき、参考になった。

楽しいアイデアがたくさん出たので、やはり楽しみながら町会活動をやっていくことが一番だと思った。

子ども向けのイベントを行うことで、大人にも周知させることができるのではないかと

地域の状況、課題について理解できた。方南小学校支援本部の活動は素晴らしい。

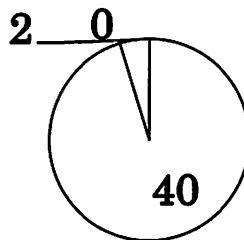
町会もPTAも同じ問題をかかえていることが分かった。ただ決定打はない。解決の方向性は一緒ということは分かった。

所変われば品変わるというとおり、参加して良かった。

町会活性化の貴重なヒントを得られた。共通の悩みを持つ各町会が行っている工夫を今後の活動に役立てたい。
各グループに分かれディスカッション（町会のバス旅行・学校を使う・子供のうちから町会にかかわっていく・助け合える環境をつくる）
町会（団体）に入るメリットをもっと広めるべきである。楽しいイベントを通して町会以外の方でも参加費を払えば参加できる形で交流を深める。
町会に入るメリットがわかり参考になった。若い世代を取り込んでいくためには、どうすればいいか考えるきっかけ作りになった。
町会の見える化。
町会によって様々であり地域性もあることを知った。
話をしたい人が多い。どうしたら近所の人を覚えるか。子どもを通して関係を作る。
色々な分野の方々とお話が出来て、自分では考えなかったこともやってみても良いかな？と思うこともあった。でも、メリットについてはなかなか難しいことだと思った。
若い人の町会加入が課題。そのためのアピール方法に工夫がいる。楽しいのもいいが、町会が生活や子育てに役に立つということを理解して貰う。
共通の問題(人数減)への対応策。PR方法・業務内容の紹介等。
講評が長過ぎた。時間内に終了させてほしい。
地域の実情と、共通の悩みがわかった。特に学校が活動の中心にあるということがわかり、地域活動の拠点となるべく頑張っていかなければと感じた。
若い人を町会に取り込もうという努力を色々とされているのを知り、考えさせられた。楽しいイベントも大切だが、ぜひ、ためになる活動のアピールをもっとしていただけたらと思う。
色々な立場の方々とざっくばらんな意見交換が出来て良かった。
子どもを巻き込んだ活動で、若い人達を引き込む。
町会活動が大変な所もあるのが分かった。
町会地域によって考えが多少違うと思うが、子どもを中心に取組んで行ったら、若い世代を取り込める。町会が何をやっているか、地域に知らせることが大切。
ボランティアセンターとの連携。
町会加入したら、どの様なメリットがあるか、アピールする方法を考えるべき。町会活動のPR方法に、どの様な手法を用いるかが極めて重要。
子ども、外国人を巻き込んでいく。町会の中の人々を良く知るべき。よい学校はよい町を作る、学校をツールにする。サルベージパーティ・ラジオ体操・町会費を使いきる。
町民の集いをうまく利用する方法 <ul style="list-style-type: none"> ・若者を町会員にするため方法 ・サルベージパーティー ・安否確認のアンケート配布等 ・防災プログラム等

2 今後も他の町会・自治会の皆さんとの交流の場が必要だと思いますか。

1 思う	40
2 思わない	0
3 どちらでもよい	2



3 今後、本講座で取り上げてほしいメニューや課題があればお聞かせください。

「地域NPO団体と地域づくり」をテーマに、町会などと連携した地域活動のあり方を探る地域懇談会を開催してほしい。

多世代の活動を知る機会、出会う機会が少ないので、このような機会はありがたいと思う。

ワークショップの時間があまり取れてなかったので、討議途中で終わった感じがした。

済美小PTAで参加したが他校が学区の町会、学校支援本部の参加があったのに対し、うちの学校は皆無・・・センターの受け持ち区分との関係か？区民センターの区分と学校が乖離しているように感じる。

町会が単に区役所の下請けにならないように、区も人が集うイベントや事業をもっと支援、助成する必要がある。

各町会ではどのような行事、レクリエーション活動をしているか？

防災の思い、考え方の異なる点が多い（らしい）ので新しいアイデアや方法、手段等が知りたい。

防災訓練の参加者を増員するための具体的方法。

防災訓練の参加者を増員するための具体的方法。

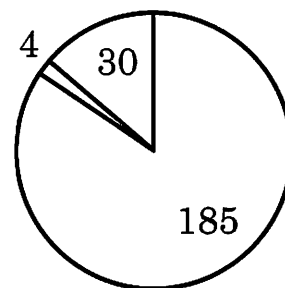
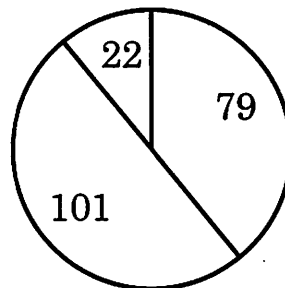
4 あなたの町会・自治会の所属する地区町会連合会に○をつけてください。

方南和泉地区	15
下高永福地区	14
左記以外の地区	1
その他の団体	11
不明	1

【全体のまとめ】

アンケート集計結果（合計）

回答のあったもののみ		
1 実践講座（ワークショップ）について		
1	参考になった	79
2	ある程度参考になった	101
3	あまり参考にならなかった	22
2 今後も他の町会・自治会の皆さんとの交流の場が必要だと思いますか。		
1	思う	185
2	思わない	4
3	どちらでもよい	30



参加者数合計：340名

【 講 評 】

事業開始から3年目となった「町会・自治会加入促進・活動活性化講座」ですが、平成29年度は、昨年度の260名を大きく上回る延べ340名の方が参加されました。このように多くの方に参加いただけた要因は、現状の課題を重く受け止め、講座から少しでもヒントを得て、可能なことから活動に取り入れようとの、皆さまの意気込みによるものと考えております。

今年度の講座開催にあたっては、これまでの実践講座や一昨年の区民意向調査から伺える、「町会・自治会がどんな活動をしているのか未加入者にはわかりにくい」「若い世代の加入が伸びない」といった、どの団体にも共通する課題の解決を目標に据えました。

講座は、各地区町連が地域担当副参事や各地域活動係と共に企画を練り、バラエティに富んだ方法で実施されました。

本年度の大きな特徴としては、多くの地区町連が東京都の推奨する「地域活動支援アドバイザー派遣」制度を採用し、専門家の講義と小グループのワークショップからなる講座に取り組みましたことが挙げられます。しかし、残念なことに、町会・自治会が抱える課題の解決には直結しづらい講義内容も見受けられたため、アンケートには、参加者から多くの不満の声が寄せられました。これを受け、地域課から東京都に対し、「地域活動支援アドバイザー派遣」が参加者の納得感や満足感を得られる制度として機能するよう、改善を強く求めました。

一方、町会・自治会をはじめ、商店会、学校関係者、NPO法人など、地域で活動する団体間の緩やかなネットワークづくりを目的に、地域区民センター協議会が毎年開催する「地域懇談会」と共同で講座を開催した地区町連もありました。そこでは、町会・自治会関係者以外の方々や30代40代の現役世代との意見交換が実現し、多面的で活発な意見交換が出来たことが高く評価されていました。また、パネルディスカッションの形式で、複数の町会から取組の成功事例が発表される取組もあり、他団体の優れた活動を知る機会を得られ良かった、とのご意見も寄せられました。

また、いずれの地区町連においても、ワークショップ形式での他団体との情報交換には大きな意味があるため継続した方が良くとするご意見が多かったと受け止めています。今後も、地域担当副参事や地域活動係とともに、各地区町連の皆さまのご意見を伺いながら団体間の情報交換の機会や場の提供に努めていく考えです。

今年度は、杉並区町会連合会創立60周年の節目の年でもあるため、『町会・自治会活動マニュアル』の作成に着手するとともに、役員を対象に「団体規約」「会計」「個人情報保護」など、活動の基本に関する講習会を実施する予定です。町会・自治会活動の透明性を高めることにより、未加入者の方々にも活動内容を広く知っていただけるよう、役員の皆さまには是非ご参加いただきたく、お願い申し上げます。

区民生活部 地域課長

堀川 直美

発行

杉並区町会連合会

事務局 杉並区役所区民生活部地域課地域係内

〒166-8570

杉並区阿佐谷南1-15-1

電話：03-3312-2111 内線3767

